

絆を鍛えて、強靱なネットワーク作り

## 連携から生まれる相乗効果を考える

### 発展を支えるのは、 相互の密接な連携力

— 木船新学長が就任され、早くも半年が経過しました。これからの名古屋学院大学はどんな大学に変革を遂げていくとお考えか、お聞かせください。また、木船学長には簡単な自己紹介をしていただけますか。

木船学長（以下学長に略） 私が名古屋学院大学に赴任して、今年で19年目になります。学長としては若い年齢の部類に入ると思っています。同窓生のみならず、今後とも宜しくお願いたします。

それから本学をどのようにしていきたいかという話ですが、まず建学の精神である「敬神愛人」を大事に考える大学であることが重要です。そこに立脚した上で、他者を思いやる優しい心の持ち主を輩出する人間教育ができる大学を目指したいと考えています。



### DISCUSSION 座談会

出席者

小川博司

同窓会 会長

伊藤信義

学校法人

名古屋学院大学 理事長

木船久雄

名古屋学院大学 学長

須崎英晴

司会（同窓会 副会長）

今年春、名古屋学院大学の体制が変わり、木船新学長が就任されました。厳しい経済環境と先行き不透明な社会情勢の中、木船新体制は名古屋学院大学をどのような方向に導いていくのか。

そして今、名古屋学院大学同窓会は母校発展の為に何が出来るか…。大学と同窓会が手を取り合い、強い絆を確かめ合う大切さを、伊藤理事長と木船学長、小川同窓会会長が語り合いました。